

かんたん解説【コミュニティ・スクールとCS協働活動】

～ 保護者・地域の皆様にご理解いただくために、特別号を作成しました！ ～

その1 「コミュニティ・スクール」とは!?

「コミュニティ・スクール」とは、「学校運営協議会」を設置している公立学校のこと。茨城県では約82%の学校で設置。取手市の公立小中学校20校はすべて設置しています。

その2 「学校運営協議会」とは!?

「学校運営協議会」とは、地域住民の方々や保護者などが委員となり、学校とともに、子供たちをどう育てていくか、そのために地域や保護者はどんなことができるかを話し合う組織です。

協議会は年4～5回開催され、校長先生・教頭先生・教務主任の先生たちと話し合いをします。

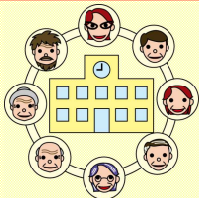


学校運営協議会のようす

本市の協議会の委員は現在275名（学校関係者・兼務者含むのべ人数）。地域住民・保護者の他、公民館長・民生委員・元校長など。

子供たちの成長のために学校は、そして地域や保護者はどんなことができる？

地域



同じ目的のため
対等の立場で
力合わせて

=

協働

学校



学校と保護者や地域が、子供の成長のために、力を合わせて「協働」していく活動

CS(地域学校)協働活動

話し合う組織としての「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」が、一体となって子供たちを育てていきます！

取手市の「学校運営協議会」



「学校運営協議会」の委員をしています。学校行事や授業を参観して子供たちの様子を直接見ながら、これからの学校のあり方、地域との協働体制について話し合っています。校長先生のお考えも直接伺うことができ、委員として責任をもって取り組んでいるつもりです。様々なお立場の他の委員の皆さんの考えを聞くこともでき、皆で力を合わせて子供たちを育てていこうという気持ちが高まりました。



校長先生と一緒に話し合い（熟議）



グループで話し合ったことを発表／皆で共有



文部科学省の講師と年4回の全体研修

取手市の「CS（地域学校）協働活動」

近くの学校のボランティアをしています。学校から支援の願いが来て、都合がよければ参加しています。先日は5年生のミシンの学習のお手伝いに行きました。それから、子供たちに会うとあいさつをしてくれるようになり、うれしい気持ちになります。



様々なCS（地域学校）協働活動が展開中！



地域の防災組織と「親子防災教室」（六郷小）



5年生「田植え体験」のお手伝い（久賀小）



バケツ水稲栽培の講師（寺原小）



取手市について3年生からの質問に答える（取手西小）



学校のおまつりで「昔遊び」（永山小）



小貝川のクリーン作戦（藤代中一年生）